くろすおーばー
CROSSOVER

「育休を取得して見えた建設業の未来」を読んで

まだまだ浸透していない男性の育休制度、社長自ら取得した事には一定の評価があると思いますが、パフォーマンスに終わらないよう、取得したいと希望するスタッフが育休を取りやすいように、社内の雰囲気づくりなどの工夫が重要かと思います。

育休のほか、子育てには会社の託児所や病理保育などの支援制度を充実させていく事もお願いしたいと思います。

茨城県　60代女性　パート

若い人たちが「建設業で働きたい」と思えるような業界にするため、企業のトップの方が率先して「育休」を取得されたことは、素晴らしいと思いました。まだまだ建設業界では、長期間の「育休」は取得しづらさがあるのではないかと思いますが、業界の未来のためには、今後も取り組んでいかなければならないことだと思います。

また「孫休」についても賛成です。祖父母の参加により両親の育児負担が少しでも減り、「子供を産みたい、育てたい」と思えるような社会になればと思いました。　東京都　60代男性　団体職員

建設業には明るくありませんが、仕事柄、建設関係の会社を訪問することがあり興味深く拝読しました。

育休などせっかくある制度は、トップから「申し訳ないと思わず使ってほしい」と言ってもらえると制度が活用しやすくなると思いました。

また、企業では子育て世代や障害のある人を含む様々な方が共に働くなかで、働きやすい環境を作りながらも目標を達成していくことは、非常にエネルギーを使うことですが、全ての人が働きやすい職場・社会になると良いと思いました。

東京都　30代女性　会社員

「浮体式洋上風力発電の紹介」を読んで

私はいわゆるエネルギー業界に勤めています。

最近は、ホルムズ海峡封鎖により原油が安定的に来るのは幻想であり、安定的な複数のエネルギー源の確保が必要だと強く感じております。

電力をどうやって手に入れるのか、原子力発電が再度脚光をあびておりますが問題も多く、太陽光発電や風力発電は有望な選択肢の一つと思います。

そんな中で、洋上風力発電の一つである浮体式洋上風力発電の紹介は、技術的な説明だけでなく、商用化への道筋、地域共生の具体策など記事は多面的にとらえられており、大変興味深かったです。やはり、採算性・地元の協力は欠かせませんよね。

今後もこのような企画が掲載されることを期待しております。

千葉県　60代男性　会社員

「我が社の技術PR/ライト工業」を読んで

随分前にNHKの「ぶらタモリ」で宮古島の地下ダムが取り上げられました。地下に作られる施設なので完成後の姿を直接見ることはできず、「この下にダムがある」との説明や尾根状の地形の遠望、水が蓄えられたことで高くなった地下水の様子が紹介されたことを覚えています。

地形や地質に詳しいタモリさんが尾根と平地の関係を解説してくれましたが、ダム自体の説明はあまりピンとこなかったと記憶しています。

技術PR記事に「地下ダム」の文字を見つけて読んでみて、少しだけわかった気になりました。いつか地下ダムだけをとりあげた詳しい解説記事を読みたいと思います。

東京都　60代女性　地方公務員

＼ 本誌「土地改良」へのご意見、ご感想をお待ちしております。／

官製はがき又はメールにて、本号の記事の中で面白かったもの、興味深かったものを5点以内で順に表題名をお書きいただくとともに、ご意見、ご感想を200字程度でおまとめ下さい。また、住所、氏名、性別、年齢、職業、勤務先、電話番号をお書き下さい（掲載の際には、都道府県名、性別、年齢、職業までを表記させていただきます。また、文意を変えない範囲で、当方の判断で文章の量を調整させていただきます）。

ご感想等を掲載させていただいた方には、「2027年国際園芸博覧会」のペアチケットを贈らせていただきます。［11月末日締切］

宛て先

〒105-0004 港区新橋5-34-4
土地改良建設協会
「くろすおーばー」係
メールアドレス
jigyo@dokaikyo.or.jp

Present
「2027年国際園芸博覧会」GREEN×EXPO 2027のペアチケット

2027年3月から神奈川県横浜市で開催される「2027年国際園芸博覧会（GREEN×EXPO 2027）」は国内最高位（A1クラス）の国際園芸博覧会です。「幸せを創る明日の風景」をテーマに、花や緑を起点に持続可能な社会の実現を目指します。会場では1000万株の花や緑が彩る、豊かな自然や生物多様性を体感できる空間が広がります。

会場：旧上瀬谷通信施設（神奈川県横浜市）
会期：2027年3月19日（金）～ 2027年9月26日（日）

- チケットは1日券（会期中いつでも1回入場可）になります。
- 専用サイトから、来場日時予約が必要です。

2027年国際園芸博覧会
公式ウェブサイト





土地改良　第335号　令和8年10月15日　発行

編集者／発行所　一般社団法人　土地改良建設協会
〒105-0004 東京都港区新橋5丁目34-4　農業土木会館
TEL 03-3434-5961　FAX 03-3434-1006
http://www.dokaikyo.or.jp/

インタビュー及び取材記事等は編集を加えており、文責は当協会にあります。また、農林水産省職員の投稿文の内容や意見は、執筆者個人に属し、同省の公式見解を示すものではありません。

デザイン・印刷　株式会社ひとみ
本誌からの許可無き転載・複製を禁じます。